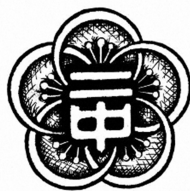


中野区立第二中学校学校だより

若葉 第248号



令和5年2月1日

令和4年度 第11号
発行者：校長 曾我 竜也

いよいよ入試本番、そして今年度も残りわずか

1月があっという間に終わり2月を迎えます。下記の行事予定(年間行事予定抜粋)をご覧ください。

月・日	曜日	2月	月・日	曜日	3月
1	水	都立一般出願～7日	1	水	都立1次合格発表
2	木	都立推薦合格発表	2	木	都立1次合格手続き～15:30
3	金		3	金	都立1次合格手続き～正午
4	土		4	土	
5	日		5	日	
6	月	学年朝礼・I組スキー教室	6	月	生徒朝礼・都立二次出願
7	火	I組スキー教室	7	火	都立二次取下げ
8	水	I組スキー教室	8	水	都立二次再提出
9	木		9	木	都立二次学力検査
10	金	私立一般入試	10	金	
11	土	私立一般合格発表	11	土	
12	日		12	日	
13	月	生徒朝礼・都立一般取下げ・国立受験	13	月	全校朝礼
14	火	都立一般再提出～20日	14	火	
15	水		15	水	卒業式予行・二次合格発表・手続き
16	木	国立発表	16	木	卒業式前日準備・二次手続き締切
17	金		17	金	第74回卒業式
18	土	土曜授業・新入生保護者説明会	18	土	
19	日		19	日	
20	月	全校朝礼	20	月	学年朝礼
21	火	都立1次前期学力検査	21	火	春分の日
22	水		22	水	定時二次入学願書受付
23	木		23	木	大掃除・定時二次入学取下げ
24	金	定期考査IV(1・2年)	24	金	修了式・定時二次入学願書再提出
25	土		25	土	
26	日		26	日	
27	月	定期考査IV(全学年)	27	月	春季休業開始・定時二次学力検査等
28	火	定期考査IV(全学年)	28	火	定時二次合格発表・手続き
			29	水	定時二次入学手続き締め切り
			30	木	
			31	金	

上記の2月、3月の行事予定から、1、2年生の登校日は「37日」、3年生は「33日」となります。2ヶ月ありますが、登校日は実質1ヶ月弱となります。皆さんは残り2ヶ月をどう過ごそうと考えていますか。

3年生にとっては、私立一般入試まで10日、都立一般入試まで21日となります。準備万端の生徒もいれば、不安ばかりが先走り、勉強が手に付かない人もいるかと思いますが、ですが、ここまで来れば「心にゆとりをもって試験にのぞむ」ことが大切です。人間の脳は、朝起きてから3時間程度で初めて正常な動きをされると言われています。皆さんが試験当日、答案用紙に鉛筆を走らせるのは大体午前9時ぐらいでしょう。そうすると、その3時間前の朝6時には起床することが、最も望ましいこととなります。また、「朝食を必ずとる」ことも大切です。消化の良い物を腹八分目程度食べておくことで、試験に向けた活力になるはずです。試験中は誰でも必死になって考え、答案に立ち向かっています。このような時、大脳で消耗されてゆくエネルギーは大変なもので

す。この消耗されるエネルギーを補給するのが朝食です。試験にかかわらず、日頃から「早寝・早起き・朝ご飯」を心がける意味が分かってもらえると思います。そして「最後まで諦めない」気持ちが大切です。1点を争う入試では、最後まで諦めずに立ち向かう気持ちこそ、合格を勝ち取ることにつながります。自分が難しいと思う問題は、ほかの生徒も難しいと思っているのです。全ての生徒が同じ条件で受験していることを忘れてはなりません。難しい問題にぶつかって、きっとあせりを感じるでしょうが、落ち着いてじっくりと問題を読み返し、何を答えるべきかを正しく捉えてみてください。とにかく、途中で放棄しないことです。先生方は皆さんの粘り強い頑張りを心から期待しています。合格の朗報をご家族の方々とともに楽しみに待っています。

1、2年生には、先日の全校朝礼での話を記載します。

**夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。
故に
夢なき者に成功なし。**

「夢なき者に成功なし」は、幕末の動乱に生を受け、私塾の塾「松下村塾」を開き、後の明治維新で重要な働きをする多くの若者を育てた「吉田松陰」の言葉です。吉田松陰は、日本の武士（長州藩士）、思想家、教育者です。一般的に明治維新の指導者として知られ、わずか29歳で死刑となっしまい、その短い生涯を終えましたが、彼の情熱はその後、松下村塾の門下生たちに受け継がれていくこととなります。松下村塾の門下生としては、高杉晋作、伊藤博文、桂小五郎など明治期を代表する偉人たちがいます。

ところで、「夢なき者に成功なし」と言われますが本当に夢のない人に成功はないのでしょうか。逆に「夢があれば、誰でも成功する」のでしょうか。私の人生経験から言うと、夢があっても叶えられない人は世の中にたくさんいると思います。自分もその一人だったと思います。つまり「夢」をもつだけでは成功するとは限らないということです。見方を変えると「成功する人には夢がある」と言えるでしょう。全ての成功の始まりは「夢」を持つことから始まると言われますが、成功する人たちの共通点は「夢」を実現するために何があっても最後まで諦めず行動・実行できる人なのでしょう。そして失敗しても、その理由を他人のせいにならず、新たな夢を持ち続けることができる人なのでしょう。そう言った人は常日頃から努力と挑戦を継続する実行力があるはずで、実行する人は、今やるべきことを確実に、そして計画的に実行することに優れています。また、計画を立てられる人は、一つ一つの計画をクリアしていった先のゴールを鮮明に描いています。その計画の先に必ずゴールとなる目標があり、理想があるはずで、そして理想がある人には、実行したい「夢」があるのです。

吉田松陰は「理想をもち、計画し、実行する」というプロセスを最後までやり遂げ、自分の手で夢をつかみ取ることの大切さを伝えようとしたのではないのでしょうか。夢は人によって様々ですが、大切なことは、その過程で、いかに自分の気持ちを実現に向けて傾けて行くかだと思います。

3年生は今まさに一人一人の「夢」の実現に向けて戦っています。1、2年生の皆さんも、今から1年後、2年後の「～成りたい自分になる～」ための「夢」をもち、その思いを実行に移せることを期待しています。

第2学年 軽井沢移動教室(スキー学習)に行ってきました

第2学年は、1月17日(火)～19日(木)の3日間、中野区とは異なる冬季の自然に親しみ、その厳しさや白銀の素晴らしさを学ぶことを目的に、軽井沢少年自然の家を拠点に移動教室へ行ってきました。メインプログラムはスキー体験です。終日晴天に恵まれた中、湯ノ丸スキー場でスキー体験が行われました。初めてのスキーに悪戦苦闘しながらも、最終日にはゲレンデをそれぞれのレベルに応じて斜面を滑走する生徒の姿を見ることができました。「楽しかった」「またスキーに行きたい」「もうスキーはいいかな」「寒いのが苦手」などなど感想はそれぞれですが、そう言った思いは体験なくして生まれません。机上の空論・・・頭では理解しているつもりでも「実体験に勝るものなし」と改めて感じることでできた移動教室でした。

大きなケガ、体調不良者もなく、食堂のお米がなくなるほど、食欲旺盛の生徒たちでした。

第1学年 校外学習(上野・浅草都内巡り)

第1学年は、1月27日(金)に校外学習を実施しました。これまで実施してきた4月当初の清水公園での校外学習、9月の軽井沢移動教室(宿泊)と違う点は、班長やコース係を中心に、見学コースの行動予定を計画し、昼食の場所も事前に調査し、必要な経費等も計算し、校外学習全ての行程を生徒自らが決定したことです。

当日は、それぞれが責任をもって考え、判断し、行動することが課題でした。今回の経験は第3学年での修学旅行、さらには高校受験までつながっていきます。目的に向かって計画する力、安全に対する意識や計画通り行動する力、トラブルへの対応力など、今回の校外学習で多くの事を学ぶことができたものと思います。